【委員会記録】

来代委員長

ただいまから、経済委員会を開会いたします。(10時34分)

議事に入るに先立ち、委員の派遣について御報告いたします。

さきの委員会以降、2人の委員から調査計画書の提出がありました。

内容は、大西委員が7月25日から2日間、北海道庁において鳥獣被害対策について、小樽市役所等において歴史的建造物を活用した観光振興についてそれぞれ調査するため、また、達田委員が9月12日に高知県の梶原町役場及び高知県庁を訪問し、自然エネルギーの取り組みや鳥獣被害対策について調査するものであり、内容を確認の上、正副委員長において派遣決定し、許可いたしましたので御報告いたしておきます。

なお、議長及び委員長あて、委員派遣調査報告書が提出されており、物すごく立派な内容だったことを申し添えておきます。

それでは、議事に入ります。

これより、当委員会の閉会中継続調査事件を議題といたします。

まず、労働委員会関係の調査を行います。

労働委員会関係の9月定例会提出予定議案はありませんが、この際、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【報告事項】

- 終結した事件について(資料①)
- 新規申請のあった事件について(資料①)
- 個別的労使紛争解決サービスの運用状況について(資料①)
- 不当労働行為救済命令取消請求の行政訴訟事件について

蛭多労働委員会事務局長

今議会で御審議いただく提出予定議案はございませんが、6月議会報告後に終結した事件等4点、御報告申し上げます。

まず、報告資料の1ページをお開きください。

1の終結した事件についてでございますが、調整事件が3件ございます。

A事件、平成23年(調)第3号でございますが、この事件につきましては、去る6月議会付託委員会で事件概要を報告させていただいておりますが、終結に至りましたので、御報告させていただきます。

この事件は、B労働組合からC協同組合を相手方として、チェック・オフ協定、いわゆる組合費を給与から控除する協定でございますが、この遵守を使用者側に求めて、平成23年6月20日にあっせん申請があったものでございます。あっせん申請後、2回のあっせん期日を設け調整を行った結果、チェック・オフ協定に関する協定を速やかに締結すること等のあっせん案を労使双方とも受け入れ、8月17日に解決したものでございます。

次のD事件、平成23年(調)第4号でございますが、これは、ただいま御報告いたしました第3号事件の被申請人であるE協同組合からF労働組合を相手方として、36協定、いわゆる時間外・休日労働協定でございますが、この締結を求めて平成23年8月8日にあっせん申請のあったものでございます。この事件につきましては、先ほど御報告いたしました平成23年(調)第3号のあっせんの中であわせて調整いたしました結果、今後、当事者間で早急に話し合うこととなり、8月18日に取り下げとなったものでございます。

最後にG事件でございますが、H労働組合からI医院を相手方として、誠実団交の実施及びこれまで使用者が半額負担していた、組合員の歯科医師国民健康保険組合の保険料を負担しないこととした不利益変更の撤回を求めて、平成23年8月24日に申請のあったものでございます。この事件につきましては、あっせんに応じていただくよう説得に努めましたが、被申請人の理解が得られず、9月7日に不応諾による打ち切りとなったものでございます。

続きまして、2ページをお開きください。

2の新規申請のあった事件についてでございますが、調整事件が2件ございます。

まず、J事件につきましては、K労働組合からL会社ほか1名を相手方として、会社の廃業問題に係る団体交渉の要求事項の回答に進展がなかなか見られないことから、誠実団交の実施等を求めて、平成23年8月24日に申請のあったものでございます。今後、円満な解決に向け、適切に処理してまいります。

次のM事件につきましては、N労働組合からO法人を相手方として、組合員の適正な配置転換を求めて、平成23年8月24日に申請のあったものでございます。この事件につきましても、適切に処理してまいります。

続きまして、3ページをごらんください。

労働者個人と使用者の紛争、いわゆる個別的労使紛争解決サービスの運用状況でございますが、本年4月以降、8月末日までの間、委員により実施した専門相談及び事務局に寄せられた相談を合わせまして126件ございました。

また、あっせん申請が11件となっております。あっせん申請のありました11件につきましては、8月31日までに9件が終結しております。この9件の終結状況でございますが、解決に至ったもの5件、打ち切りとなったもの4件となっております。また、打ち切り4件の内訳でございますが、相手方当事者があっせんそのものに応じない不応諾が4件となっております。

なお、係属中2件のうち1件につきましては、9月に入りまして解決いたしました。残る1件につきましても、解決に向け、適切に処理してまいります。

最後に、資料はございませんが、不当労働行為救済命令取消請求の行政訴訟事件につきまして、御報告申し上げます。

平成19年12月17日、P労働組合ほか2組合からQ会社を相手方とし、組合員であるがゆえに合理的理由もなく契約社員として採用しなかったことが、不当労働行為に該当するとして、不利益取り扱いの撤回及び支配介入の禁止などを求めて、当委員会に救済申し立てがございました。

この申し立てに対し、平成21年8月31日、当委員会が本件申し立てを棄却するとの命令書を交付いたしましたところ、この命令を不服として、同年12月16日、組合は徳島地方裁判所に命令の取り消しを求める訴えの提起をいたしました。

当委員会といたしましては、裁判において、命令の正当性を主張しておりましたところ、この裁判とは別に、

組合員らがQ会社に対し、従業員としての地位確認などを求めていた訴訟において、平成 23 年7月8日、徳島地裁で和解が成立したため、本件行政訴訟について、組合側が同日付で取り下げたことにより、本事件は終結いたしました。以上で報告を終わらせていただきます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

来代委員長

以上で、報告は終わりました。

これより質疑に入りますが、事前委員会の質疑につきましては、提出予定議案に関連する質疑及び緊急を要する案件とする申し合わせがなされておりますので、御協力よろしくお願いいたします。

それでは質疑をどうぞ。

(「なし」と言う者あり)

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で労働委員会関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。(10 時 42 分)